

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	診療画像検査学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 901教室
担 当 教 員	吉田 昌裕、山崎 勝	実務経験と その関連資格	近畿中央胸部疾患センターで診療放射線技師として従事し各種検査に携わった。 (吉田)／大阪市立大学医学部付属病院で診療放射線技師として従事し各種検査に携わった。(山崎)			
《授業科目における学習内容》						
X線TVシステムの基本構成を概説。カテーテル診断・治療で用いる循環器X線装置とその周辺機器の概要と管理のありかた。X線装置以外の画像診断装置(IVUS、OCT)の画像診断と管理。他モダリティ(特にCT、MR)との連携。インターベンションに対する画像の評価。救急時の対応。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「放射線機器学(1)」編:青柳康司						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
X線発生装置の基本構成を知ること、X線が人体にどのように作用するのかをより深く学ぶことができます。また、X線透視システムの基本構成と様々な検査を知ること、診療放射線技師としての役割を理解し説明できるようになってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	X線発生装置やX線制御装置などの構成を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
	講義形式	各コマにおける授業予定	X線装置Ⅰ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	高電圧発生装置について理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
	講義形式	各コマにおける授業予定	X線装置Ⅱ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	インバータ式X線高電圧装置の特性について理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
	講義形式	各コマにおける授業予定	インバータ式X線高電圧装置			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	陰極に関する特性である正焦点と副焦点を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
	講義形式	各コマにおける授業予定	X線管球			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	自動露出機構(AEC)の特性を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
	講義形式	各コマにおける授業予定	自動露出機構(AEC)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	イメージインテンシファイア (I.I.)装置の構成を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	イメージインテンシファイア (I.I.)装置 I		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	イメージインテンシファイア (I.I.)装置の特性を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	イメージインテンシファイア (I.I.)装置 II		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	フラットパネル (FPD)の構成を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	フラットパネル (FPD)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器X線装置とその周辺機器を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	循環器X線装置とその周辺機器		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器X線装置と他モダリティ (CT,MR,RI)との連携を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	循環器X線装置と他モダリティ (CT,MR,RI)との連携 I		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器X線装置と他モダリティ (CT,MR,RI)との連携を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	循環器X線装置と他モダリティ (CT,MR,RI)との連携 II		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療 (インターベンション)の歴史と現況 救急時の対応を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	血管内治療 (インターベンション)の歴史と現況 救急時の対応 I		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管内治療 (インターベンション)の歴史と現況 救急時の対応を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	血管内治療 (インターベンション)の歴史と現況 救急時の対応 II		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管拡張術と血管塞栓術 IVUS (血管内超音波)、OCT (光干渉断層法)、ポリグラフを理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	血管拡張術と血管塞栓術 IVUS (血管内超音波)、OCT (光干渉断層法)、ポリグラフ I		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	血管拡張術と血管塞栓術 IVUS (血管内超音波)、OCT (光干渉断層法)、ポリグラフを理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと
		各コマにおける授業予定	血管拡張術と血管塞栓術 IVUS (血管内超音波)、OCT (光干渉断層法)、ポリグラフ II		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	診療画像検査学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 901教室
担当教員	吉田 昌裕、山崎 勝	実務経験とその関連資格	近畿中央胸部疾患センターで診療放射線技師として従事し各種検査に携わった。(吉田)／大阪市立大学医学部付属病院で診療放射線技師として従事し各種検査に携わった。(山崎)			
《授業科目における学習内容》						
X線TVシステムの基本構成を概説。カテーテル診断・治療で用いる循環器X線装置とその周辺機器の概要と管理のありかた。X線装置以外の画像診断装置(IVUS、OCT)の画像診断と管理。他モダリティ(特にCT、MR)との連携。インターベンションに対する画像の評価。救急時の対応。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「放射線機器学(1)」編:青柳康司						
《授業外における学習方法》						
シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。						
《履修に当たっての留意点》						
X線発生装置の基本構成を知ること、X線が人体にどのように作用するのかをより深く学ぶことができます。また、X線透視システムの基本構成と様々な検査を知ること、診療放射線技師としての役割を理解し説明できるようになってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	冠動脈のインターベンションとその撮影法 不整脈および心不全のインターベンションとその撮影法を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	冠動脈のインターベンションとその撮影法 不整脈および心不全のインターベンションとその撮影法Ⅰ			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	冠動脈のインターベンションとその撮影法 不整脈および心不全のインターベンションとその撮影法を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	冠動脈のインターベンションとその撮影法 不整脈および心不全のインターベンションとその撮影法Ⅱ			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管のインターベンションとその撮影法を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	脳血管のインターベンションとその撮影法			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	四肢血管のインターベンションとその撮影法を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	四肢血管のインターベンションとその撮影法			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天性心疾患のインターベンションとその撮影法を理解し説明できる。	授業中にプリントを配布する	授業終了時に示す課題を実施しておくこと	
		各コマにおける授業予定	先天性心疾患のインターベンションとその撮影法			

